

CITIZEN

PHU-500設置マニュアル

PHU-500 は、PMU3300 シリーズのオプションの用紙ホルダーで、ロール紙（大口径を含む）を保持し、ペーパーニアエンド（PNE）センサーで用紙残量低下を検出できます。

本紙は、PHU-500 の組立設置方法等について説明しています。

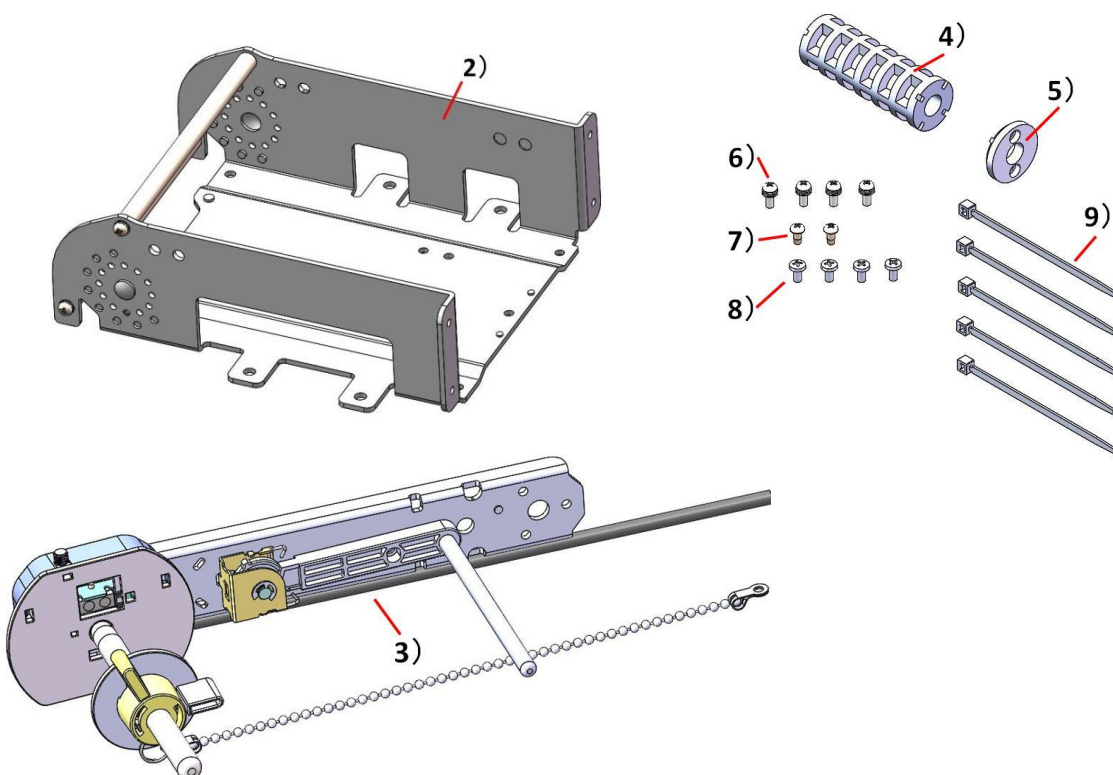
PMU3300 に関する詳細に関しては「PMU3300 取扱説明書」を参照ください。

この組立マニュアルの内容は予告なく変更される場合があります。

1. 同梱品

本製品には以下の部品が同梱されています。

- | | |
|------------------------------|-----|
| 1) 組立マニュアル（本紙） | 1 個 |
| 2) フレーム | 1 個 |
| 3) 用紙ホルダー | 1 個 |
| 4) 用紙ホルダーコア | 1 個 |
| 5) コア用フランジ | 1 個 |
| 6) 取付けネジ（Wセムス M3×8） | 4 個 |
| 7) 用紙コアフランジ取付けネジ（P タイト M3×8） | 2 個 |
| 8) プリンター及び鎖取付けネジ（バインド M3×6） | 4 個 |
| 9) 結束バンド | 5 個 |



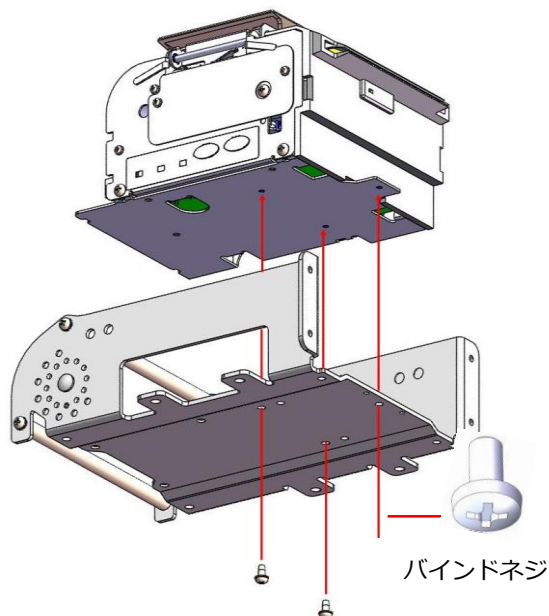
2. 組立

⚠ 注意

- ・組立時に板金のエッジ等で怪我をしないように十分ご注意ください。
- ・ハーネス等の部分を持ったままプリンターの移動をしないでください。思わぬ事故の原因になります。
- ・組立は必ず電源ケーブル、インターフェースケーブルを抜いた状態で行ってください。

◆フレームへの固定

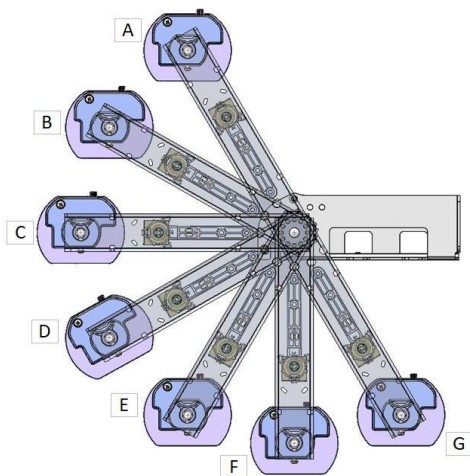
- ・PMU3300 を PHU-500 に同梱されているバインドネジ（頭部の大きなネジ）でフレームに固定します。（3箇所）



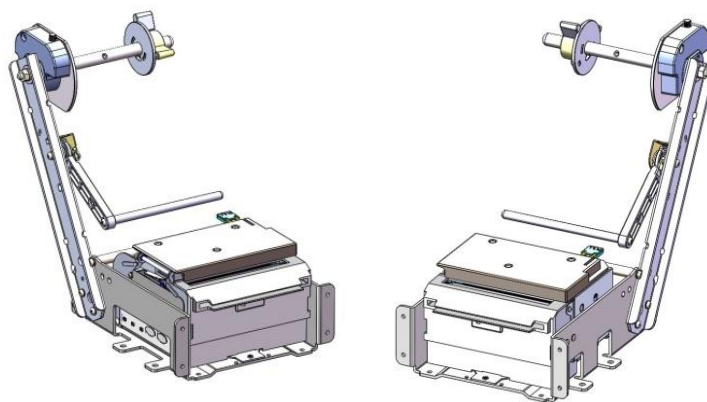
—図 2—

◆用紙ホルダーの取り付け

- ・用紙ホルダーのフレームへの固定は、7ポジション（A～G）× 左右2箇所が可能です。使い方に合わせて位置を選んでください。

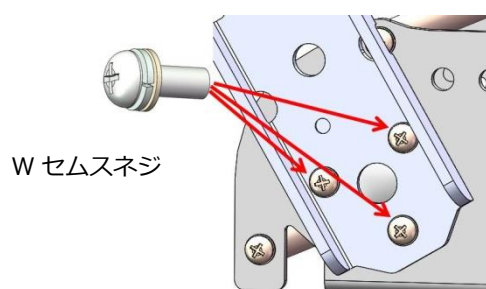


—図 3—



—図 4—

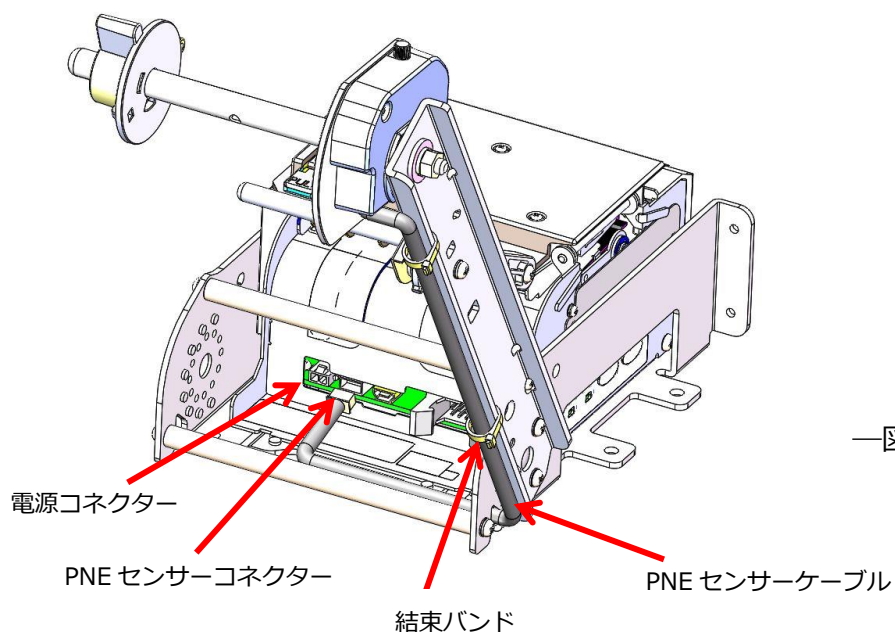
- ・用紙ホルダーは、同梱されている W セムスネジ（ワッシャーが 2 個組み込まれたネジ）を用いて、必ず 3 箇所固定してください。



—図 5—

◆電源、PNE センサーの取付け

- ・ PNE センサーのケーブルを用紙ホルダーの腕部に沿わせ、同梱されている結束バンドで固定します。（2～3 箇所）
- ・ 電源のケーブルと PNE センサーのケーブルが用紙に接触しないよう配置してください。



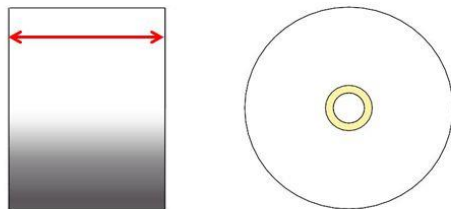
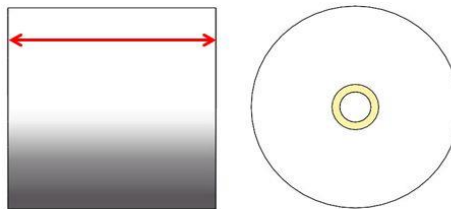
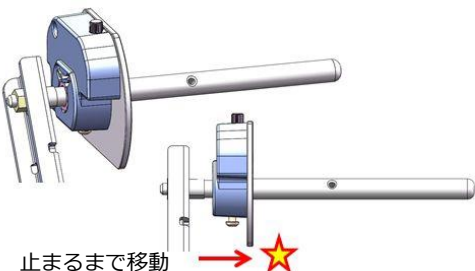
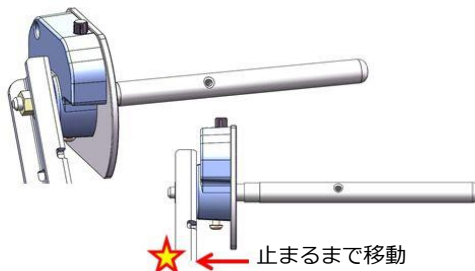
—図 6—

3. 用紙ガイド

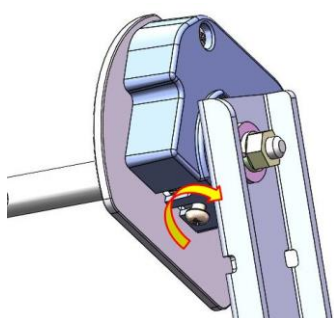
◆用紙ガイドの固定

- ・用紙幅に合わせて用紙ガイド位置を選定しネジを締めて固定します。

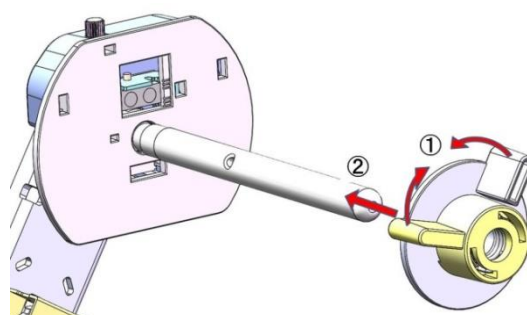
注：固定をする前に後述の用紙ガイドの角度に注意してください。

	2 インチ用紙	3 インチ用紙
用紙	用紙幅 58/60mm 	用紙幅 80mm 
用紙ガイド位置	 止まるまで移動 → ★	 ★ ← 止まるまで移動

－図 7－



用紙ガイドの固定 1

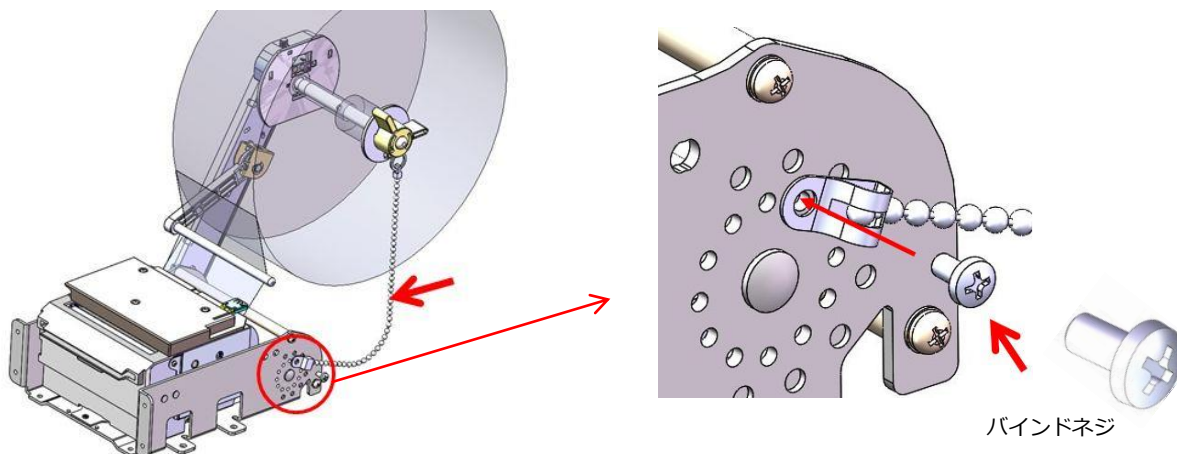


用紙ガイドの固定 2

－図 8－

◆用紙ガイドの紛失防止用の鎖の取付け

- ・ペーパーガイドに組み込まれた鎖をバインドネジで固定します。



－図 9－

◆用紙ガイドの角度

図 3 A の枠は、ポジションによる用紙ガイド部の 2 種類の角度を色違いで表しています。

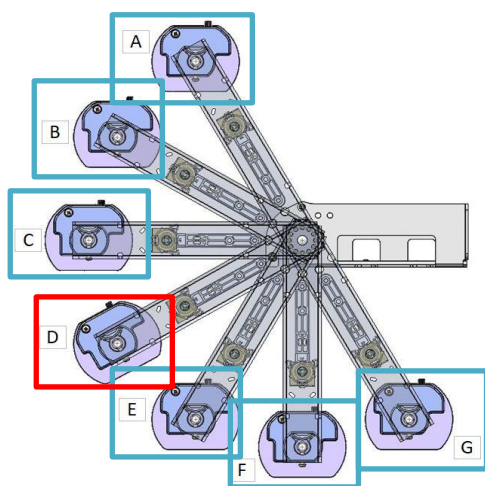
A, B, C, E, F, G ポジション

図 10 のように用紙ガイドの角度を天地方向に合わせます。

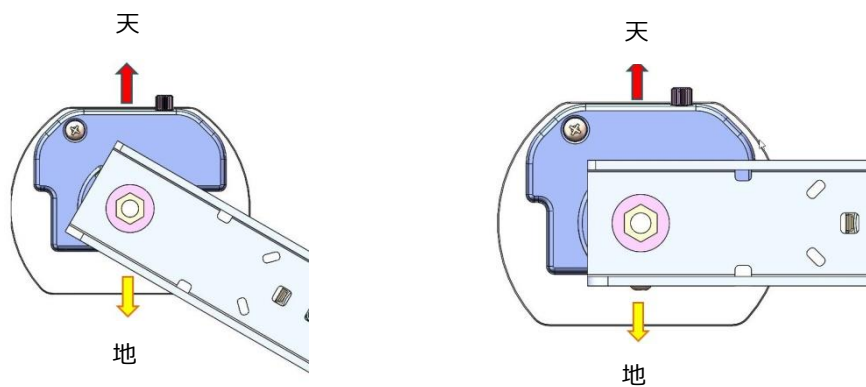
D ポジション

図 11 のようにアームと平行に用紙ガイドを固定します。

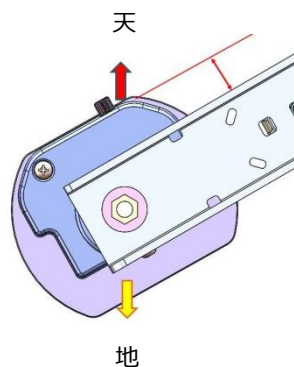
D ポジションだけ角度が異なるのは PNE センサーの誤検知防止のためです。



—図 3A—



—図 10—



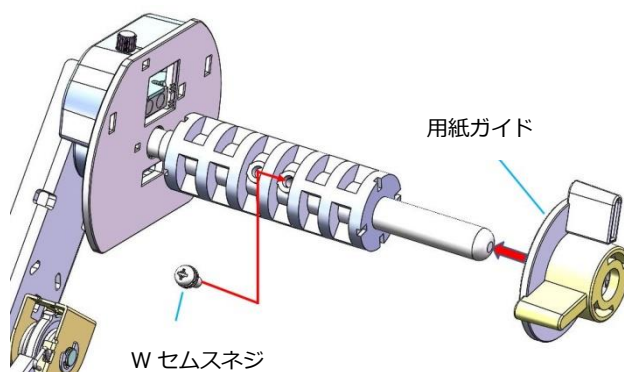
—図 11—

4. 用紙ホルダーコアと PNE センサー調整

◆用紙ホルダーコア

- ・用紙ロールの芯の内径サイズにより、用紙ホルダーコアを使います。（図 12, 15 参照）
- ・用紙ホルダーコアは用紙幅 80mm に対応しています。58/60mm には使用できません。
用紙ホルダーコアは同梱されたWセムスネジ（ワッシャーが 2 個組み込まれたネジ）で固定します。

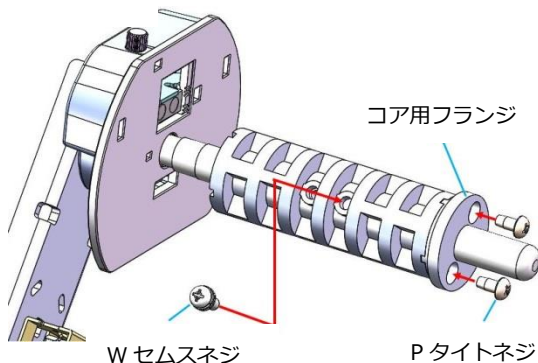
用紙ガイドを使用する場合



－図 12－

注）用紙ガイド又はコア用フランジの使い方によって用紙コアの固定場所が異なります。

用紙ガイドを使用しない場合



－図 13－

コア用フランジを P タイトネジ 2 本で組み立ててから取付けます。

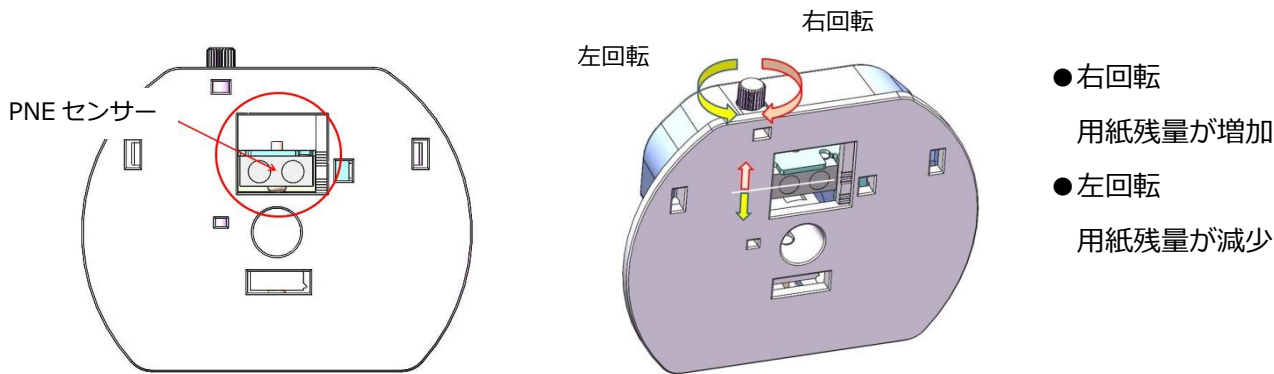
使用する用紙にてコア用フランジが使えるかを確認した上でお使いください

◆PNE センサー位置の調整

・ PNE センサーに関する筐体設計、設置時の注意事項

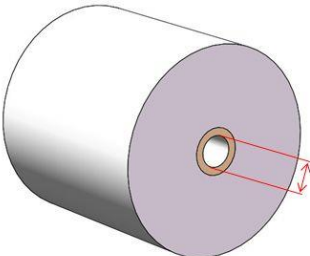
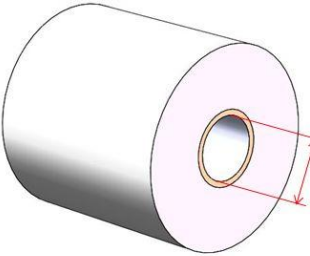
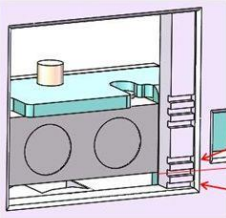
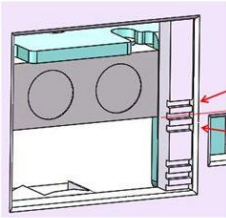
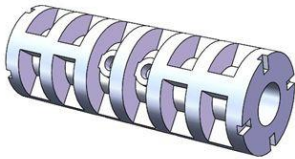
PNE センサーは、外乱光により誤検出する場合があります。PNE センサーが外乱光の影響を受けないよう、筐体設計や設置等を考慮してください。

- ・用紙ガイドに取り付けられている PNE センサーは任意の位置に設定できます。
PNE センサーの設定位置によって PNE 検出時の用紙残量が異なりますので図 14/15 を参考に適切な位置に設定ください。



- 図 14 -

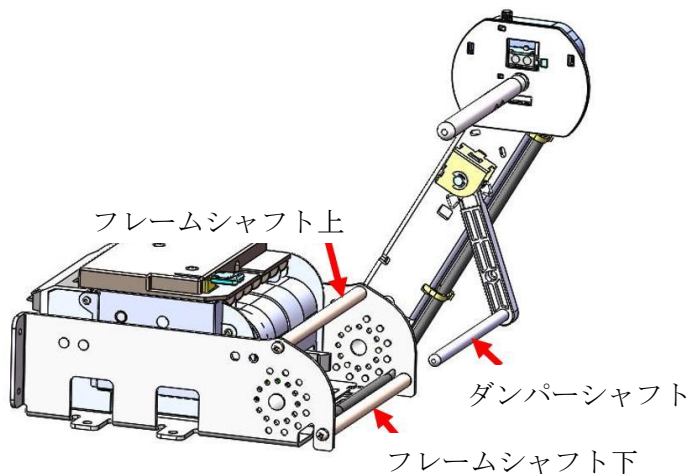
- ・ PNE センサー設定位置は、使用する用紙の芯のサイズによって異なります。
- ・ 芯の内径は図 15 のように内径が 12mm、25.4mm 程度の物に分けられます。
- ・ 1 インチコアの用紙を使う場合は、同梱されている用紙ホルダーコアを使用してください。
- ・ センサー位置設定は目盛りの中央②、⑤を目安に設定し実際の残量から微調整を行ってください。
(コアの寸法によっては、目定の所定位置で検出できないことがありますのでご注意ください。)
- ・ 用紙残量の目安は、小コア径で約 2.5m、1 インチコア径で約 2m です。

	小コア径(約 12mm)	1 インチコア径
用紙	 内径 内径 : 12mm 程度	 内径 内径 : 25.4mm 程度
センサー位置	 目安 : ② ③ ② ①	 目安 : ⑤ ⑥ ⑤ ④
ホルダーコア	不要	必要 

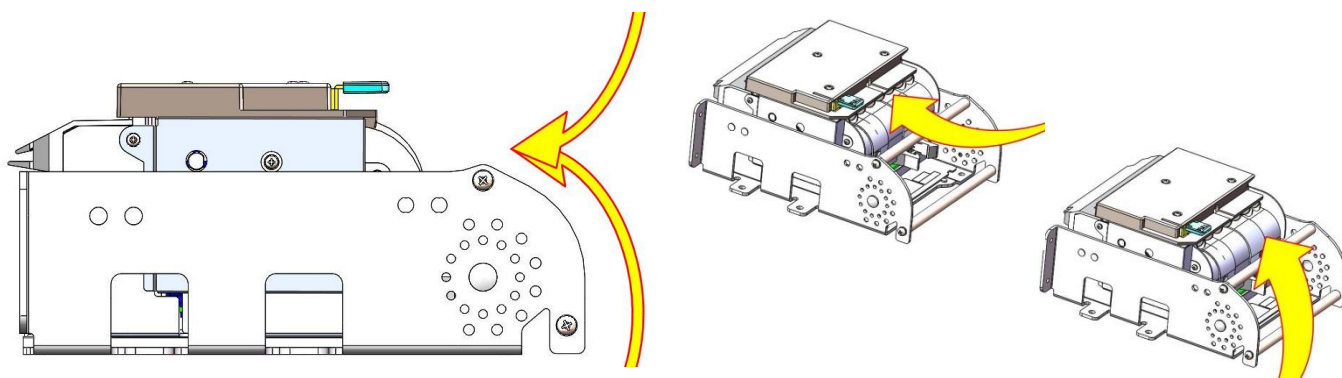
- 図 15 -

5. 用紙とダンパーのセット

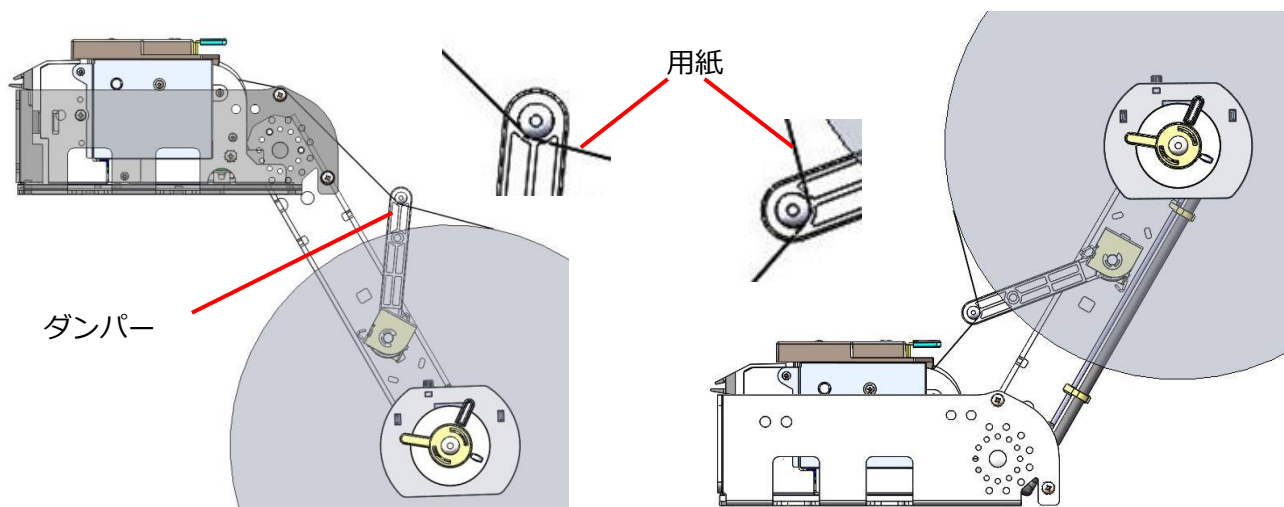
- ・ 印字面がロール紙の外側に来る用紙を使用してください。印字面が内側に来る用紙は使えません。
- ・ 用紙の通過コースは、下図のようになります。用紙は上下のフレームシャフトの外側を通します。
- ・ ダンパーシャフトに関しては、図 18 の右左の図のように用紙入口までの距離がより長くなる位置にダンパーシャフトが来るようにします。
- ・ ダンパーは、大径ロール紙を引っ張り始める際の負荷を減らすために使用します。



－図 16－



－図 17－



－図 18－

φ130mm 以上の大口径ロール紙を使用する場合、ダンパーによって用紙にテンションがかかった状態で放置されると、用紙がプリンター内部で引っ掛かる可能性があります。
そのような場合は、「MSW6-3 自動テンション補正」を有効にして使用して下さい。

またこのようなトラブルを避けるために、電源を切る際にロール紙を回して用紙のテンションを緩めるか、電源投入後 200mm 程度紙送りしてください。